

HP Functional Testing Concurrent License Server

ソフトウェア・バージョン : 11.00

インストール・ガイド

ドキュメント発行日 : 2010 年 10 月 (英語版)

ソフトウェア・リリース日 : 2010 年 10 月 (英語版)



利用条件

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータ・ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・ソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© 1992 - 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

Adobe® および Acrobat® は、Adobe Systems の商標です。

Intel®, Pentium® および Intel® Xeon™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT® および Windows® XP は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、カリフォルニア州レッドウッド市の Oracle Corporation の米国登録商標です。

Unix® は、The Open Group の登録商標です。

SlickEdit® は、SlickEdit Inc. の登録商標です。

文書の更新

このガイドの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント・リリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェア・リリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の取得登録は、次の Web サイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>（英語サイト）

または、HP Passport のログイン・ページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポート・サービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください

サポート

次の HP ソフトウェア・サポート Web サイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com>

HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HP ソフトウェア・サポート・オンラインでは、セルフ・ソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HP ソフトウェア・サポート Web サイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポート・ケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェア・カスタマとの意見交換
- ソフトウェア・トレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、以下の Web サイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセス・レベルに関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

目次

はじめに	7
第 1 章：インストールの前に	9
第 2 章：コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ	11
コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または Service Test の セットアップ	13
コンカレント・ライセンス・サーバのアップグレード	15
コンカレント・ライセンス・サーバのインストール	16
コンカレント・ライセンス・キーの申請	27
冗長ライセンス・サーバ	30
コンカレント・ライセンス・キーのインストール	32
別のネットワーク・コンピュータへのコンカレント・ライセンス・ サーバの移転	38
第 3 章：コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント	39
一般的なヒント	39
コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動	39
ロッキング・コード	40
既知の問題とその解決法	41
第 4 章：ライセンス・サーバのエラー・コード	43
エラー 5：ライセンス・マネージャと通信できません。 「LocalHost」サーバが起動していません	43
エラー 19：ライセンス・コードをインストールできません。	44
第 5 章：コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ	47
概要	48
現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示（QuickTest のみ）	53
ライセンス・サーバの表示	53
ライセンス・サーバの監視	54
LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定	57
第 6 章：コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストール	61

はじめに

QuickTest Professional および Service Test のための HP Functional Testing Concurrent License Server インストール・ガイドへようこそ。

対象読者

本書は、HP Functional Testing Concurrent License Server のインストール、セットアップ、および保守を行う必要があるユーザを対象としています。

本書の読者は、システム管理についてある程度の知識を持っている必要があります。

はじめに

第 1 章

インストールの前に

QuickTest Professional および Service Test 用 HP Functional Testing Concurrent License Server インストール・ガイドには、HP Functional Testing Concurrent License Server とコンカレント・ライセンス・キーのインストールに必要な情報が記載されています。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールするために必要な最小限のシステム構成は次のとおりです。

コンピュータおよびプロセッサ	550 MHz 以上の Pentium III マイクロプロセッサを搭載した IBM-PC またはその互換機
オペレーティング・システム	Windows 2000/2003/XP
メモリ	256 MB 以上の RAM
ハード・ディスクの空き容量	10 MB の空き容量
アクセサリ	DVD ドライブ（ローカル・ドライブからインストールする場合）
プロトコル	TCP/IP

第 2 章

コンカレント・ライセンス・サーバの セットアップ

ライセンスには、シート・ライセンスとコンカレント・ライセンスの 2 種類があります。シート・ライセンスはコンピュータ単位のライセンスです。コンカレント・ライセンスは、HP Functional Testing Concurrent License Server を持っている場合にのみ使用可能なセッションごとのライセンスです。サーバにアクセスできれば、コンカレント・ライセンスを使用できます。

HP Functional Testing Concurrent License Server は、QuickTest バージョン 6.0 以降、Service Test バージョン 10.00 以降でのコンカレント・ライセンスをサポートします。

バージョン 8.2 以降の QuickTest を使用する場合、HP Functional Testing Concurrent License Server のバージョン 9.0 以降を使用する必要があります。

本書では、HP Functional Testing Concurrent License Server とコンカレント・ライセンス・キーのインストール方法について説明します。シート・ライセンスのインストールの詳細については、『HP QuickTest Professional インストール・ガイド』または『HP Service Test インストール・ガイド』を参照してください。どちらのライセンスをインストールすればよいかわからない場合は、関連する製品のインストール・ガイドを参照するか、システム管理者またはお近くの HP の営業担当にお問い合わせください。

また、コンカレント・ライセンス・オプションを使って、製品を実行する各コンピュータに当該製品をインストールする必要もあります。コンカレント・ライセンスをインストールする場合、任意の数のコンピュータに製品のクライアントをインストールできます。ただし、HP Functional Testing Concurrent License Server は、コンカレント・ライセンス・キーに基づいて、同時実行できる製品のコピーの数を制限します。

第 2 章・コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

同時に実行できるコピーの数を増やすには、HP から追加ライセンスを購入します。

QuickTest または Service Test からコンカレント・ライセンス・サーバに接続するには、有効なライセンス・キーがコンカレント・ライセンス・サーバにインストールされている必要があります。HP Functional Testing Concurrent License Server では、デモ・ライセンス・オプションを使用できません。QuickTest または Service Test のインストールの詳細については、『HP QuickTest Professional インストール・ガイド』または『HP Service Test インストール・ガイド』を参照してください。

本章では、次の項目について説明します。

- ▶ 「コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または Service Test のセットアップ」(13 ページ)
- ▶ 「コンカレント・ライセンス・サーバのアップグレード」(15 ページ)
- ▶ 「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」(16 ページ)
- ▶ 「コンカレント・ライセンス・キーの申請」(27 ページ)
- ▶ 「冗長ライセンス・サーバ」(30 ページ)
- ▶ 「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」(32 ページ)
- ▶ 「別のネットワーク・コンピュータへのコンカレント・ライセンス・サーバの移転」(38 ページ)

コンカレント・ライセンスを使用した QuickTest または Service Test のセットアップ

コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または Service Test を実行するコンピュータは、常にコンカレント・ライセンス・サーバにアクセスできる必要があります。本項では、コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または Service Test をセットアップする手順についてまとめます。

注：出張に携帯するラップトップ・コンピュータのように、コンカレント・ライセンス・サーバに一時的にアクセスできなくなるコンピュータには、コンピュータ・ライセンス機能を使用できます。コンピュータ・ライセンス機能は、HP Functional Testing Concurrent License Server のバージョン 7.6 以降で使用できます。コンカレント・ライセンス・サーバの以前のバージョンのライセンス・キーをお持ちの場合は、HP ソフトウェア・サポートに新しい HP Functional Testing Concurrent License Server のライセンス・キーを申請してください。詳細については、「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」(32 ページ)を参照してください。

コンカレント・ライセンスを使って QuickTest または Service Test をセットアップするには、次の手順で行います。

- 1 HP Functional Testing Concurrent License Server をネットワーク・コンピュータにインストールします。詳細については、「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」(16 ページ)を参照してください。
- 2 コンカレント・ライセンス・キーを申請します。詳細については、「コンカレント・ライセンス・キーの申請」(27 ページ)を参照してください。
- 3 HP からコンカレント・ライセンス・キーを受け取ったら、キーを入力してライセンス・サーバにライセンスをインストールします。詳細については、「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」(32 ページ)を参照してください。

第 2 章・コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

- 4 QuickTest または Service Test を実行する各コンピュータで QuickTest または Service Test セットアップ・プログラムを実行します。[ライセンスの種類] 画面で [コンカレントライセンス] を選択します。詳細については、『HP QuickTest Professional インストール・ガイド』を参照してください。
- 5 QuickTest または Service Test の使用を開始します。プログラムは起動されると自動的にライセンス・サーバを探し、接続します。

注: お使いの QuickTest または Service Test クライアント・コンピュータでライセンス・サーバを見つけられず、接続できない場合には、LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定が必要になることがあります。詳細については、「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」(57 ページ) を参照してください。

コンカレント・ライセンス・サーバのアップグレード

QuickTest Professional は、コンカレント・ライセンス・サーバとして、Sentinel RMS License Manager バージョン 8.3.0 をサポートしています。コンカレント・ライセンスを持つ QuickTest Professional をアップグレードする場合、コンカレント・ライセンス・サーバもアップグレードする必要があります。

コンカレント・ライセンス・サーバをアップグレードするには、管理者権限が必要です。

コンカレント・ライセンス・サーバを更新するには、次の手順で行います。

- 1 Sentinel LM サービスを手動で停止します。[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで [Sentinel LM License Manager] を右クリックし、[停止] を選択します。
- 2 **Iservrc** ファイルのバックアップを保存します。**Iservrc** ファイルは、Sentinel LM License Manager サーバが現在インストールされているフォルダ(例:C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\Sentinel LM License Manager Server\WinNT) または **Iservrc** 環境変数に指定されている場所にあります。

ヒント : **Iservrc** 環境変数のパスを確認するには、[マイ コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。**Iservrc** 変数については [環境変数] ウィンドウの [ユーザー] のユーザー環境変数 ボックスにパスが表示されます (例 : C:\Program Files\Common Files\HP\License Manager\Iservrc)。

- 3 Sentinel RMS License Manager バージョン 8.3.0 をライセンス・サーバ・コンピュータにインストールします。ライセンス・サーバをインストールすると、ライセンス・サーバが新しいバージョンにアップグレードされます。詳細については、「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」(16 ページ) を参照してください。

第2章・コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

- 4 インストール後、製品がインストールされているかどうかに応じて、バックアップをとった **Iservrc** ファイルを次の場所にコピーします。
 - ▶ 製品がインストールされている場合、このファイルを **Iservrc** 環境変数によって指定した場所にコピーします。
 - ▶ 製品がインストールされていない場合、**Iservnt.exe** ファイルと同じフォルダに **Iservrc** ファイルをコピーします（例：C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\RMS License Manager Server\WinNT\Iservnt.exe）。

ヒント : **Iservnt.exe** の場所を確認するには、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで [Sentinel RMS License Manager] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。[実行ファイルのパス] ボックスに **Iservnt.exe** のパスが表示されます。

コンカレント・ライセンス・サーバのインストール

本節では、コンピュータへのコンカレント・ライセンス・サーバのインストール方法について説明します。

HP Functional Testing Concurrent License Server によって Sentinel RMS License Manager Server バージョン 8.3.0 がインストールされます。Sentinel RMS License Manager Server の詳細については、QuickTest Professional または Service Test インストール DVD の **LicenseServer\server\SysAdminHelp** フォルダにある『Sentinel RMS License Manager System Administrator's Help』を参照してください（ヘルプにアクセスするには、**index.html** ファイルを開きます）。

注 : コンピュータに以前のバージョンのコンカレント・ライセンス・サーバがすでにインストールされている場合、決まった手順に従ってコンカレント・ライセンスをアップグレードする必要があります。詳細については、「コンカレント・ライセンス・サーバのアップグレード」（15 ページ）を参照してください。

第2章・コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

ライセンス・サーバをインストールするには、管理者権限が必要です。

ライセンス・サーバは TCP/IP がインストールされているコンピュータにインストールする必要があります。TCP/IP がインストール済みで正しく機能していることを確認するには、ライセンス・サーバをインストールするコンピュータがネットワーク上の別のコンピュータから識別できることを確認します。別のコンピュータで **[スタート] > [ファイル名を指定して実行]** をクリックします。**[名前]** ボックスで、「ping<ライセンス・サーバをインストールするコンピュータの名前>」と入力します。**[OK]** をクリックします。1 台目のコンピュータでネットワーク上の 2 台目のコンピュータが識別されると、MS-DOS ウィンドウが開き、4 つの成功メッセージが表示されます。1 台目のコンピュータでネットワーク上の 2 台目のコンピュータが識別されなければ、MS-DOS ウィンドウは開きますが、成功メッセージは表示されません。

インストールしたコンカレント・ライセンス・サーバは、QuickTest または Service Test をクライアント・コンピュータで使用する際には、常に稼動している必要があります。

日本語版のコンカレント・ライセンス・サーバをインストールするには、次の手順で行います。

- 1 DVD ドライブがローカル・コンピュータにある場合、インストールに使用するドライブに QuickTest Professional または Service Test インストール DVD を挿入します。ネットワーク・ドライブからインストールする場合、そのネットワーク・ドライブに接続して **setup.exe** を実行します。メイン・インストール・ウィンドウが開きます。
- 2 **[Functional Testing License のセットアップ]** を選択します。Concurrent License Server のインストール・ウィンドウが開きます。

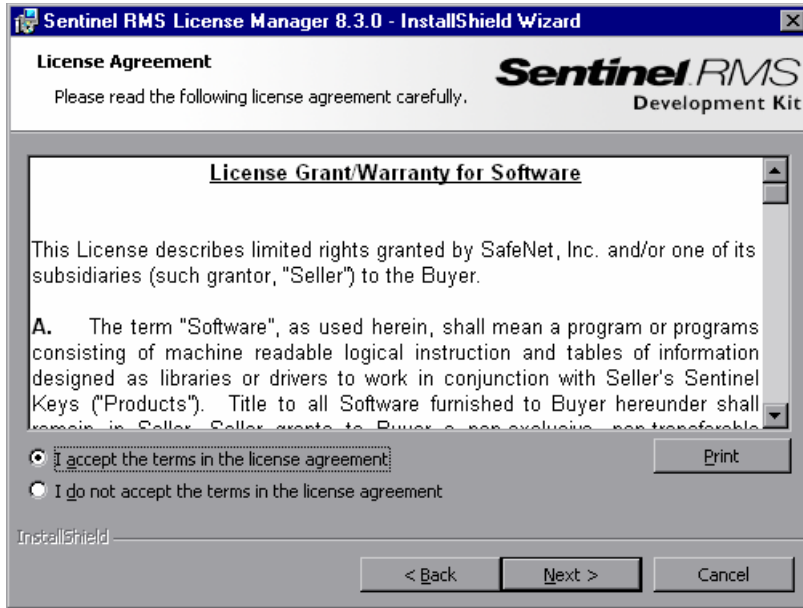


3 [Install the HP Functional Testing Concurrent License Server] をクリックします。

Sentinel RMS License Manager Server のセットアップ・プログラムが起動し、Sentinel RMS License Manager の [Welcome] 画面が表示されます。



- 4 [Next] をクリックします。Sentinel RMS License Manager の [License Agreement] 画面が表示されます。



- 5 **[I accept the terms in the license agreement]** を選択して、**[Next]** を選択してライセンス契約の条件に同意し、Sentinel RMS License Manager をインストールします (**[I do not accept the terms in the license agreement]** を選択すると、インストールを続行できません)。**[Customer Information]** 画面が開きます。

Sentinel RMS License Manager 8.3.0 - InstallShield Wizard

Customer Information

Please enter your information.

Sentinel RMS
Development Kit

User Name:
Hewlett-Packard Company

Organization:
Hewlett-Packard Company

Install this application for:

Anyone who uses this computer (all users)

Only for me (Hewlett-Packard Company)

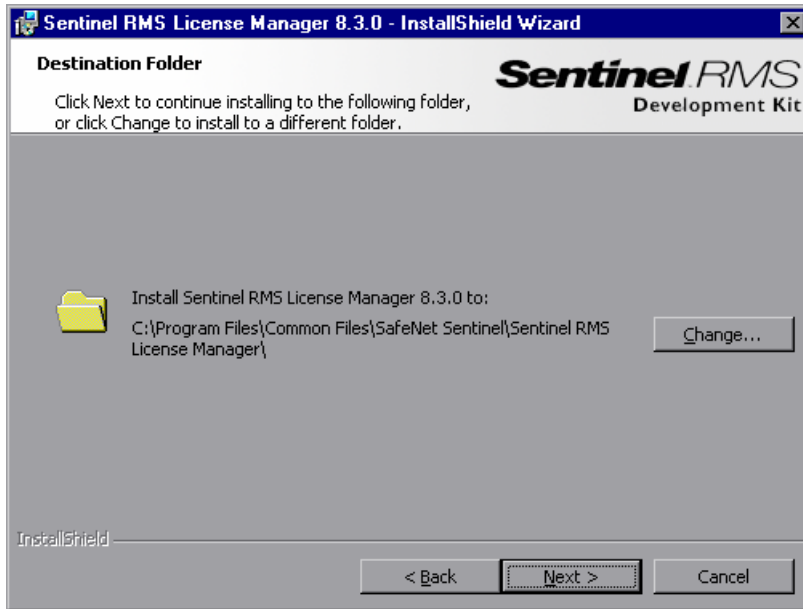
InstallShield

< Back Next > Cancel

- 6 名前と組織名を入力し、コンピュータのすべてのユーザが使用できるようにアプリケーションをインストールするか、現在のユーザのみを対象にインストールするかを選択します。**[Next]** をクリックします。**[Destination Folder]** 画面が開きます。

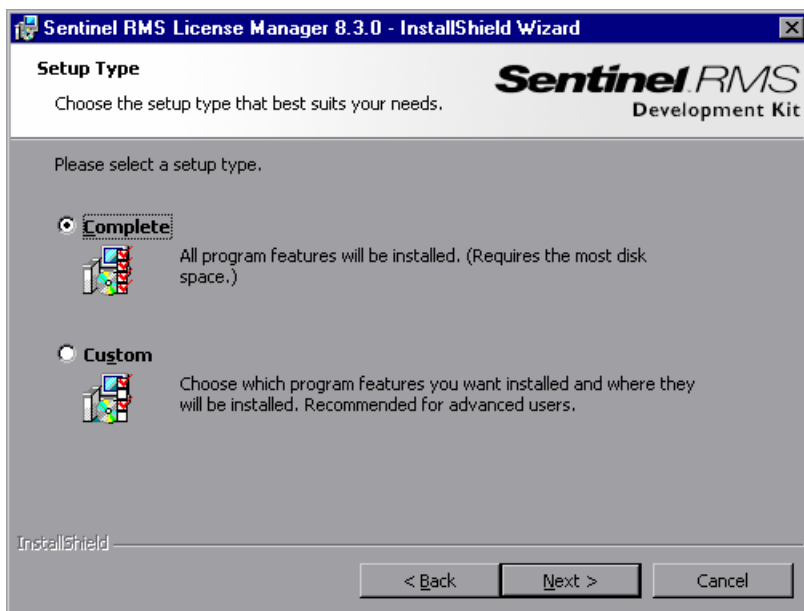
第 2 章・コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

- 7 標準のインストール先フォルダをそのまま使用するか、[Change] をクリックして HP Functional Testing Concurrent License Server のインストール先フォルダを別に指定します。



[Next] をクリックして続行します。[Setup Type] 画面が開きます。

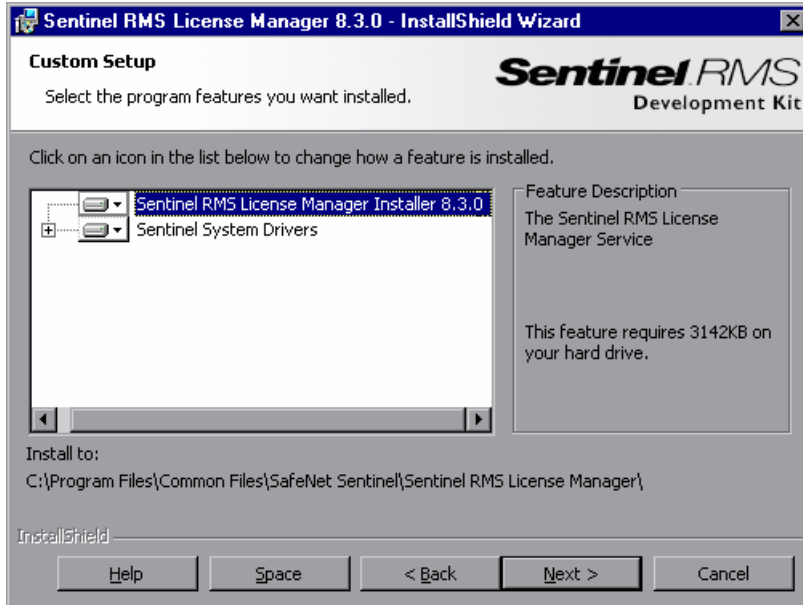
- 8 [Setup Type] 画面で [Complete] または [Custom] インストールを選択します。



[Next] をクリックして続行します。[Custom] を選択した場合は、手順 9 に進みます。[Complete] を選択した場合は、手順 10 に進みます。

注：[Complete] オプションを選択すると、HP Functional Testing Concurrent License Server にとって必須でない追加プログラム機能がインストールされます。したがって、[Custom] オプションを選択し、次の説明に従って必須のプログラム機能のみをインストールすることをお勧めします。

- 9 [Custom Setup] 画面で、インストールする機能とそれらをインストールする方法を選択します。**Sentinel RMS License Manager Installer 8.3.0** 機能のインストールは必須です。ほかの機能のインストールは任意であり、HP Functional Testing Concurrent License Server では使用されません。

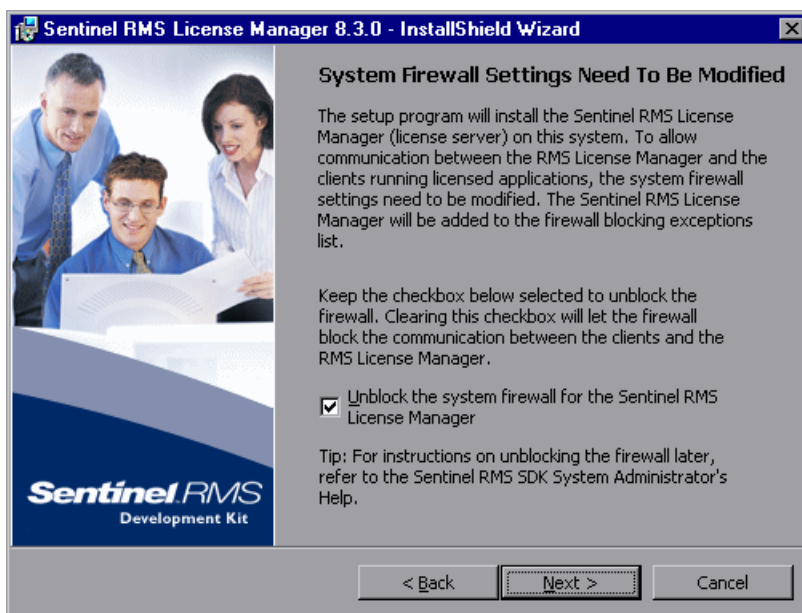


各機能の横にあるドロップダウン矢印をクリックして、ローカル・ハード・ディスクにその機能のみをインストールするか、その機能とすべてのサブ機能をインストールするかを選択できます。

[Next] をクリックします。システム・ファイアウォールが有効になっているオペレーティング・システム（Windows XP Service Pack 2 など）にライセンス・サーバをインストールしようとする時、[System Firewall Settings Need To Be Modified] 画面が開き、コンピュータのファイアウォール設定を変更する必要がある旨が通知されます（手順 10）。システム・ファイアウォールが有効になっていないオペレーティング・システムにライセンス・サーバをインストールしている場合は、手順 11 に進みます。

ヒント : [Space] をクリックすると、選択した機能に必要なディスク容量が表示されます。

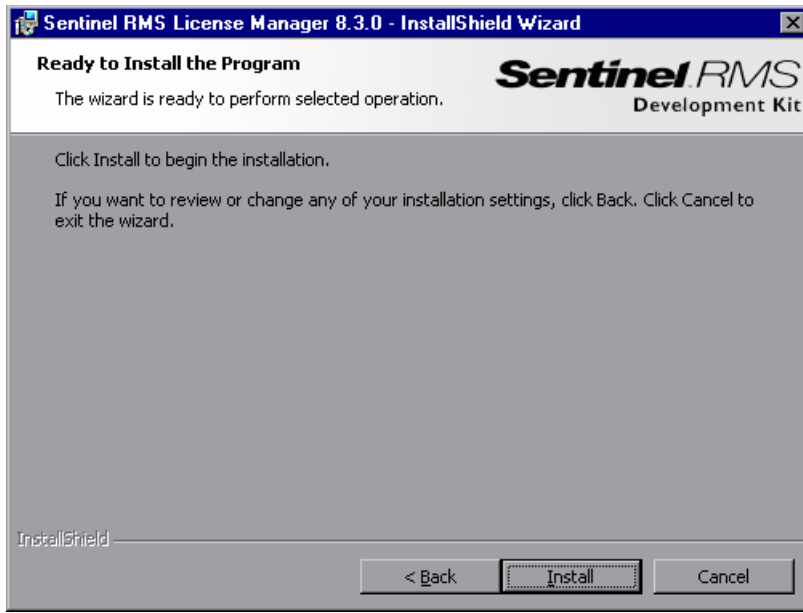
- 10 [Unblock the system firewall for the Sentinel RMS License Manager] チェック・ボックスをオンにして、Sentinel RMS License Manager Server (コンカレント・ライセンス・サーバ) とネットワーク・クライアントとの間の通信を有効にします。このチェック・ボックスをオフにすると、コンカレント・ライセンスを使用して QuickTest または Service Test を実行しているコンピュータは、コンカレント・ライセンス・サーバにアクセスできなくなります。



注 : Sentinel RMS License Manager のためのシステム・ファイアウォールのブロック解除を後で行う場合は、関連するオペレーティング・システムのドキュメントを参照してください。

[Next] をクリックします。

- 11 [Ready to Install the Program] 画面で、[Install] をクリックします。



セットアップ・プロセスが始まります。セットアップ・プロセスを中断または終了するには、[Cancel] をクリックします。

- 12 インストールが完了すると、[InstallShield Wizard Completed] 画面が開きます。[Finish] をクリックしてウィザードを終了し、セットアップ・プロセスを完了します。

コンカレント・ライセンス・サーバをインストールした後、QuickTest または Service Test を使用する前にコンカレント・サーバ・ライセンス・キーを申請し、インストールする必要があります。デモ版のコンカレント・ライセンスはありません。

コンカレント・ライセンス・キーの申請

コンカレント・ライセンス・サーバのインストールが完了したら、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンスのインストール・プログラムを実行して、HP にライセンス・キーを申請する必要があります。コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムは、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたコンピュータで実行します。

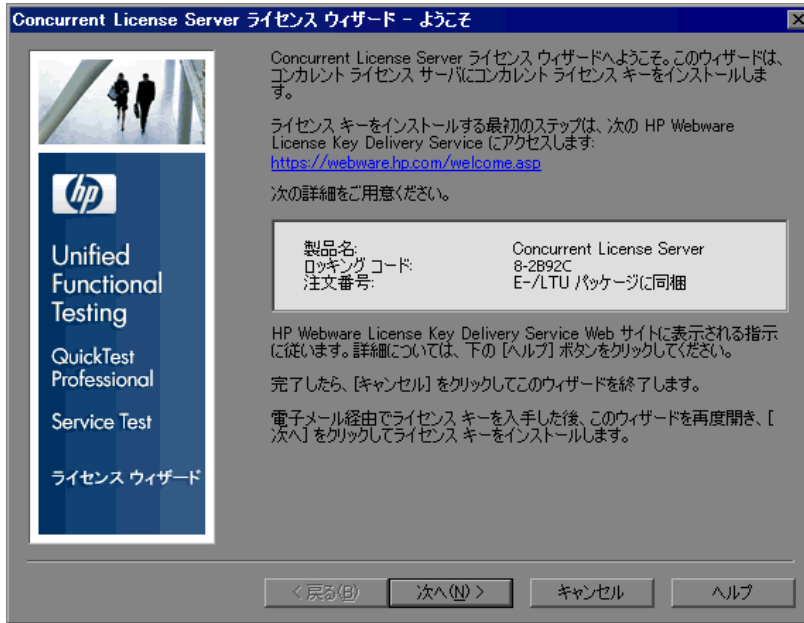
コンカレント・ライセンス・キーを申請するには、次の手順で行います。

- 1 DVD ドライブがローカル・コンピュータにある場合、インストールに使用するドライブに QuickTest Professional または Service Test インストール DVD を挿入します。自動再生が有効になっている場合、メイン画面が開きます。ネットワーク・ドライブからインストールする場合、そのネットワーク・ドライブに接続して **setup.exe** を実行します。メイン・インストール・ウィンドウが開きます。
- 2 **[Functional Testing License セットアップ]** を選択します。Concurrent License Server のインストール・ウィンドウが開きます。



3 [コンカレント・ライセンスキーのインストール] をクリックします。

コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムが起動して [ようこそ] 画面が開き、お使いのコンピュータのロッキング・コードとライセンスの種類が表示されます。



- 4 ライセンス・キーを申請するには、**HP Webware License Key Delivery Service** の [QuickTest Professional or Service Test License Installation - Welcome] 画面のリンクをクリックします。「HP Webware License Key Delivery Service へのライセンス・キーの申請」(29 ページ) に示す指示に従ってください。
- 5 ライセンス・キーをすでに持っている場合は、「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」の項の手順 4 (35 ページ) に進みます。

HP Webware License Key Delivery Service へのライセンス・キーの申請

HP Webware License Key Delivery Service は、ライセンス・キーの申請をお手伝いします。ここで示す手順は、ライセンス・キーの申請手順の概要です。

License Key Delivery Service フォームの各フィールドの詳細については、『ESD and Webware License Management Guide』を参照してください（HP License Key Delivery Service の「Welcome」ページにある **[Support]** セクションで **[Webware User Guide]** リンクをクリックします）。

ライセンス・キーを申請するには、次の手順を実行します。

- 1 **HP Webware License Key Delivery Service** の **[License Installation - Welcome]** 画面のリンクをクリックします。**[HP License Key Delivery Service Welcome]** ページが表示されます。
- 2 **[Generate New Licenses]** をクリックします。**[Generate license(s)]** ページが表示されます。
- 3 LTU または ELTU パッケージで受け取った Software Entitlement Certificate から注文番号を入力します。
- 4 **[Next]** をクリックします。**[Product Selection]** ページが表示されます。
- 5 ライセンス・キーを申請する製品の横にあるチェック・ボックスを選択します。
- 6 **[Next]** をクリックします。**[Order Product Detail(s)]** ページが表示されます。
- 7 コンピュータのロッキング・コードを入力します。ロッキング・コードは **[License Installation - Welcome]** 画面に表示されます。
- 8 **[Next]** をクリックします。**[Member sign-in]** ページが表示されます。
- 9 Webware Licensing サービスを以前利用したことがあれば、電子メール・アドレスとパスワードを入力します。利用したことがなければ、新規ユーザとしてログインします。
- 10 **[Sign-in]** をクリックします。**[Address information]** ページが表示されます。前ユーザの場合は、Webware によって自動的にその情報がフィールドに取り込まれます。新規ユーザの場合は、画面に表示される指示に従って情報を入力します。**[Address information]** ページでの記入については、『ESD and Webware License Management Guide』を参照してください。
- 11 顧客のためにライセンス・キーを申請している顧客担当者の方で、手続きのコピーを顧客に送信しない場合は、**[E-mail a copy of this license transaction to the license owner]** チェック・ボックスの選択を解除します。

第2章・コンカレント・ライセンス・サーバのセットアップ

- 12 エンド・ユーザ顧客の方は、[I am the License owner] チェック・ボックスを選択してください。[License owner (End-user) information] セクションが無効になります。
- 13 顧客のためにライセンス・キーを申請している顧客担当者の方は、[I am the License owner] チェック・ボックスの選択を解除してください。[License owner (End-User) information] セクションで要求される情報をすべて入力してください。
- 14 [Next] をクリックします。[License/Password] ページが表示されます。Session ID をメモしてから、[Main Menu] をクリックして「Welcome」ページに戻ります。永久パスワード証明書は、ライセンス・キーと一緒に指定したアドレスに電子メールで送付されます。
- 15 [Cancel] をクリックして、電子メールで届く永久パスワード証明書を待機してください。ライセンス・キーが届いたら、「コンカレント・ライセンス・キーのインストール」(32 ページ) の手順を実行します。

冗長ライセンス・サーバ

冗長ライセンス・サーバはフェイルオーバを実現し、メイン・ライセンス・サーバに障害が発生した場合に、ダウンタイムが発生したりライセンスが失われたりすることなく、残りのサーバがライセンスの可用性を維持できるようにします。

冗長ライセンス・サーバ機能は、大規模なネットワーク環境を持ち、ライセンス・サーバのバックアップを希望する企業にとって有用です。

冗長ライセンス・サーバを使用する場合、プライマリ・ライセンス・サーバのコンカレント・ライセンス・キーを申請し、そのライセンス・キーがすべてのバックアップ・ライセンス・サーバで使用されます。

冗長ライセンス・サーバの配置の詳細については、インストールDVDの **¥LicenseServer¥server¥SysAdminHelp¥Default.htm** にある『Sentinel RMS Kit System Administrator's Help』で「Setting up Redundant License Servers」の項を参照してください

注：

- ▶ 冗長ライセンス・サーバを使用するには、冗長サーバが少なくとも 3 台必要で、最大 11 台配置できます。
- ▶ 冗長サーバの配置時には、**多数決原理**に従う必要があります。**多数決原理**とは、冗長ライセンス・サーバの過半数が稼働されている場合のみ、ライセンスの申請が処理されることを意味します。

たとえば、冗長ライセンス・サーバを 10 台定義しており、多数決原義に従っている場合、ライセンスの申請が処理されるには、少なくとも 6 台の冗長ライセンス・サーバが稼働中である必要があります。

詳細については、インストール DVD の **¥LicenseServer¥server¥SysAdminHelp¥Default.htm** にある『**Sentinel RMS Kit System Administrator's Help**』で「**Majority Rule**」を検索してください。

冗長ライセンス・サーバ・キーを申請するには、次の手順で行います。

- 1 Webware HP License Key Delivery Service (www.webware.hp.com) にアクセスします。
- 2 [Support] セクションで、[Contact license delivery center] をクリックします。
- 3 記載されている地域のライセンス提供センターのいずれかに連絡し、**フェイルオーバー/ホット・スタンバイ** ライセンスを申請します。
- 4 サポート・チームのメンバーから詳細の問い合わせがあります。使用するすべてのバックアップ・サーバのロッキング・コードを提供するよう要求されます。

コンカレント・ライセンス・キーのインストール

HP からライセンス・キーを受け取ったら、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・キーのインストール・プログラムを再度実行してキーをインストールする必要があります。ライセンス・キーは、永久パスワード証明書を含む電子メールに添付されている **.dat** ファイルに含まれています。コンカレント・ライセンス・キーは、コンカレント・ライセンス・サーバをインストールしたコンピュータにインストールする必要があります。

注意：

- ▶ コンカレント・ライセンス・キーは、リモートからインストールできません（たとえば、Symantec pcAnywhere、Citrix、Terminal Server を使用してのインストール）。
- ▶ コンカレント・ライセンス・キーをインストールした後は、コンピュータの日付や時刻を変更しないでください。これらの変更を行うと、**クロック不正変更**によってライセンス情報がロックされ、ライセンスを使用できなくなります。

コンカレント・ライセンス・キーをインストールするには、次の手順で行います。

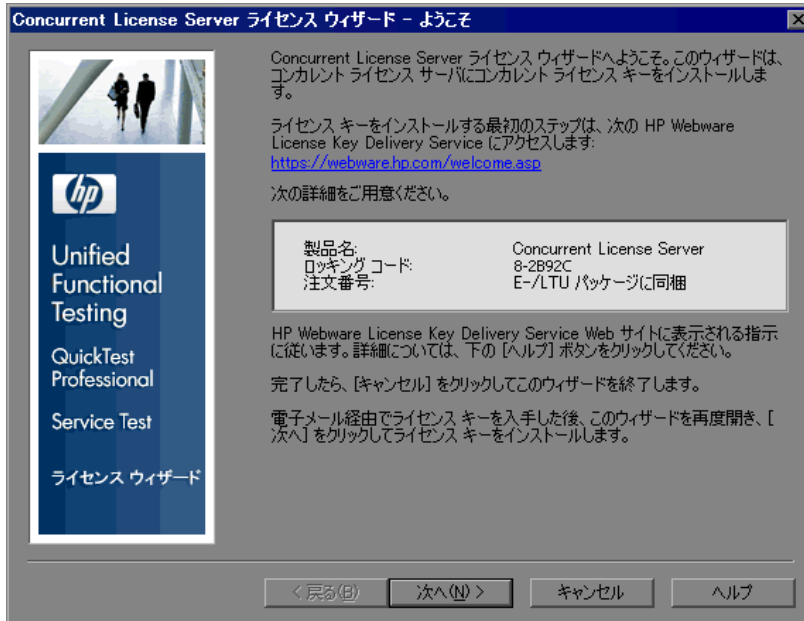
- 1 DVD ドライブに QuickTest Professional または Service Test のインストール DVD を挿入します。DVD を挿入した DVD ドライブがローカル・コンピュータのドライブである場合、QuickTest Professional または Service Test のセットアップ・ウィンドウが開きます。
ネットワーク・ドライブからインストールする場合は、DVD のルート・フォルダにある **setup.exe** をダブルクリックします。QuickTest Professional または Service Test のセットアップ・ウィンドウが開きます。

- 2 [Functional Testing License Server セットアップ] を選択します。Functional Testing Concurrent License Server のセットアップ・ウィンドウが開きます。

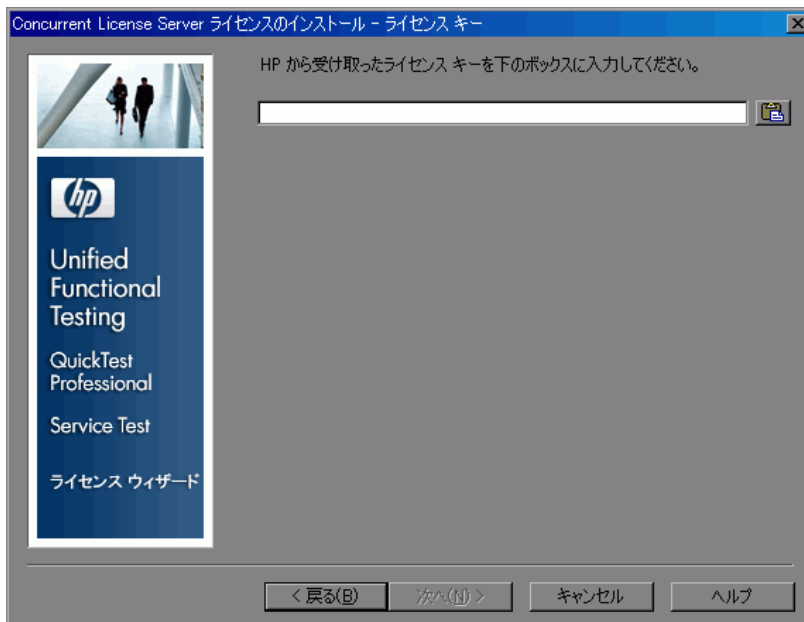


3 [コンカレント・ライセンスキーのインストール] をクリックします。


コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・コードのインストール・プログラムが起動して [ようこそ] 画面が開き、お使いのコンピュータのロッキング・コードとライセンスの種類が表示されます。



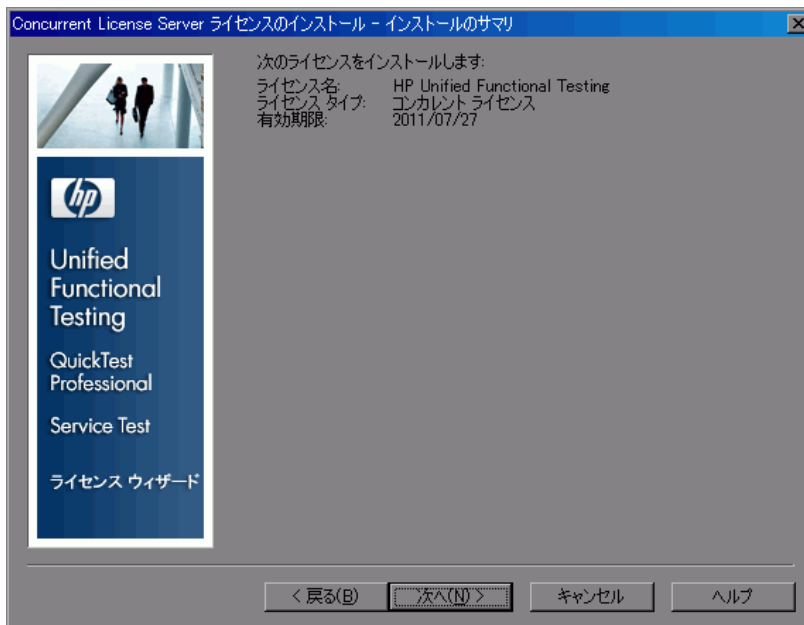
- 4 [次へ] をクリックしてライセンスのインストールを開始します。[ライセンス キー] 画面が開きます。



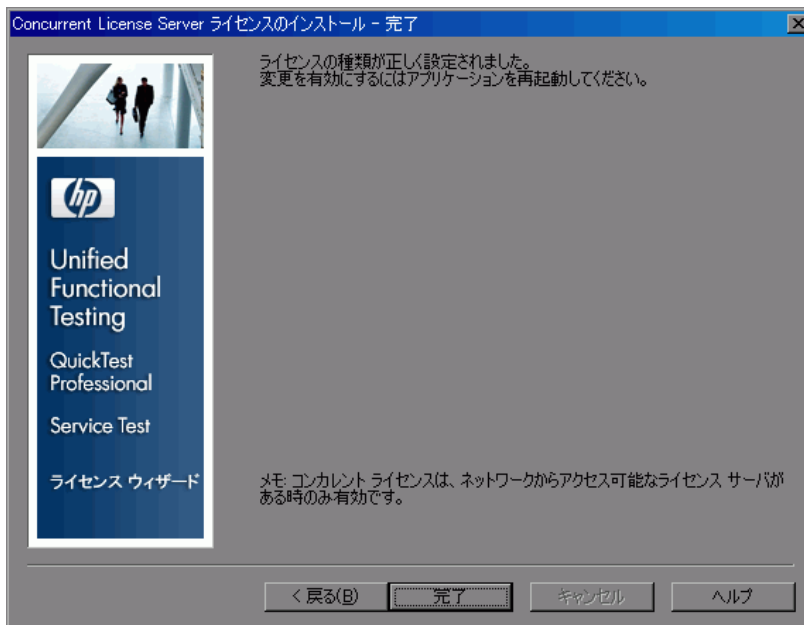
注: ライセンス・キーは、HP に送られたロッキング・コードを持つコンピュータでのみ有効になります。

- 5 永久パスワード証明書の含まれる電子メールに添付されている **.dat** ファイルをテキスト・エディタで開きます。ライセンス・キーは永久パスワード証明書にも含まれています。
- 6 **.dat** ファイルから (# 文字の有無にかかわらず) ライセンス・キーを選択して、クリップボードにコピーします。
-  7 [クリップボードから貼り付ける] ボタンをクリックして、キーを [ライセンスインストール - ライセンス キー] 画面に貼り付けます。

- 8 [次へ] をクリックします。[インストールのサマリ] 画面が開きます。



- 9 情報が正しいことを確認し、[次へ] をクリックします。[完了] 画面が開きます。



有効なライセンス・キーを入力すると、[完了] 画面でライセンス・キーが正しくインストールされたことが確認できます。

ライセンスを正常にインストールできなかった場合は、その原因を示すメッセージが表示されます。たとえば、ライセンス・キーを正しく入力しなかった場合、インストールは正常に行われません。

注: ライセンスと HP Functional Testing Concurrent License Server の詳細については、HP ソフトウェア サポート Web サイト (<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/document/KM174867>) で HP Software セルフ・ソルブ・ナレッジベースを参照し、Problem ID 18251 の「Top QuickTest Professional Licensing Articles」を検索してください。

別のネットワーク・コンピュータへのコンカレント・ライセンス・サーバの移転

HP Functional Testing Concurrent License Server を、別のネットワーク・コンピュータに移転できます。

ライセンス・サーバを別のコンピュータに移転するには、次の手順で行います。

- 1 「コンカレント・ライセンス・サーバのインストール」(16 ページ) の説明に従って、コンカレント・ライセンス・サーバのインストール・プログラムを実行し、新たなコンピュータにコンカレント・ライセンス・サーバをインストールします。
- 2 「コンカレント・ライセンス・キーの申請」(27 ページ) の説明に従って、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンスのインストール・プログラムを実行し、コンカレント・ライセンス・キーを申請します。申請には、既存のライセンス・サーバを新たなコンピュータに移転しようとしている旨を記載します。
- 3 新しいコンカレント・ライセンス・キーを受け取って新たなネットワーク・コンピュータにインストールしたら、前のネットワーク・コンピュータからコンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールします。

第 3 章

コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント

本章では、コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒントとトラブルシューティング情報を提供します。また、コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動方法についても説明します。

本章では、次の項目について説明します。

- ▶ 「一般的なヒント」(39 ページ)
- ▶ 「コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動」(39 ページ)
- ▶ 「ロッキング・コード」(40 ページ)
- ▶ 「既知の問題とその解決法」(41 ページ)

一般的なヒント

QuickTest または Service Test が動作しているクライアント・コンピュータが複数のドメインに分散している場合、ライセンス・サーバを各ドメインにインストールする必要があります。

コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動

ライセンス・サーバをリセットする場合は、コンピュータを再起動することをお勧めします。また、次の手順でコンピュータを再起動せずにライセンス・サーバの停止と再起動を行うこともできます。

注：コンカレント・ライセンス・サーバは、ホスト・コンピュータが起動すると自動的に立ち上がります。

ライセンス・サーバを停止して再起動するには、次の手順で行います。

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [管理ツール] をダブルクリックしてから [サービス] をダブルクリックします。[サービス] ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3 [サービス (ローカル)] リストで [Sentinel RMS License Manager] を選択し、[サービスの停止] をクリックします。
- 4 ライセンス・サーバを再起動するには、[Sentinel RMS License Manager] を反転表示させ、[サービスの開始] をクリックします。

ヒント：

■▶ ライセンス・サーバを停止して再起動するには、[Sentinel RMS License Manager] を反転表示させ、[サービスの再起動] をクリックします。

また、LSRVDOWN ユーティリティを使用してライセンス・サーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、50 ページを参照してください。

ロッキング・コード

ロッキング・コードはライセンス・サーバまたはシート・ライセンス・ホストが生成する一意の識別番号です。どのコンピュータにもそれぞれ固有のロッキング・コードがあります。ロッキング・コードはメンテナンス番号と組み合わせて、サーバ・コンピュータのライセンス・キーを生成するのに使われます。あるコンピュータのロッキング・コードに基づいて生成されたライセンス・キーを別のコンピュータで使うことはできません。

既知の問題とその解決法

次の表に、既知の問題とその解決法を示します。

問題	解決法
<p>コンカレント・ライセンス・サーバが QuickTest または Service Test のクライアントと異なるドメインやサブネットにインストールされている。</p>	<p>ドメイン間で UDP ポート 5093 を開きます。QuickTest または Service Test のクライアント・コンピュータの LSHOST パラメータまたは LSFORCEHOST パラメータを設定します。詳細については、「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」(57 ページ) を参照してください。</p> <p>接続を確認するには、Windows コマンド・ラインから ping -a を実行します。</p> <p>成功すると、次のように表示されます。Reply from <サーバの IP アドレス> : <バイト数> <時間>。</p>
<p>コンカレント・ライセンス・サーバを Novell または Unix コンピュータにインストールしたい。</p>	<p>コンカレント・ライセンス・サーバのソフトは Novell, Unix のいずれもサポートしていません。QuickTest または Service Test のクライアント・コンピュータごとにシート・ライセンス・キーを生成してください。あるいは、Windows プラットフォームのネットワーク・コンピュータをコンカレント・ライセンス・サーバとして使用してください。</p>
<p>コンカレント・ライセンス・サーバに正しいライセンス・キーがインストールされているのに、QuickTest または Service Test を起動できない。</p>	<p>自動実行画面からではなく setup.exe ファイルを使って QuickTest または Service Test をインストールすると、QuickTest または Service Test は自動的にシート・ライセンス・オプションでインストールされます。QuickTest または Service Test を起動しようとするとき開くメッセージ・ボックスで、[ライセンスのインストール] をクリックします。License Installation ユーティリティが起動します。これを使ってライセンスの種類をコンカレント・ライセンス・オプションに変更できます。</p>

第3章・コンカレント・ライセンス・サーバに関するヒント

問題	解決法
日付を操作するテストなどのために、コンカレント・ライセンス・サーバがインストールされているコンピュータの日付を変更した。そのために、コンカレント・ライセンス・サーバのライセンス・キーがロックされてしまった。	コンピュータの日時を元の値に戻し、HP ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。
コンカレント・ライセンス・キーをネットワーク上の場所からインストールしようとしているが、 [ヘルプ] ボタンをクリックしても F1 を押してもヘルプにアクセスできない。	ウィザードのユーザ・インターフェースについて説明するヘルプ・トピックは、CHM ファイルとして用意されています。CHM ファイルはネットワーク上の場所からは開けません。ヘルプ・トピックを表示するには、次のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none">▶ <ライセンス・サーバのパス>%help%FTCLS_License.chm にある CHM ファイルをローカル・ドライブにコピーし、このファイルを開いて [ヘルプ] にアクセスします。▶ ヘルプ・トピックを PDF 形式で表示します (<ライセンス・サーバのパス>%MerLicSvr.pdf)。

上記およびその他の問題の詳細については、HP ソフトウェア・サポート Web サイト (<http://h20230.www2.hp.com/troubleshooting.jsp>) で、QuickTest または Service Test のナレッジ・ベースを参照してください。

第 4 章

ライセンス・サーバのエラー・コード

本章では、表示される可能性のあるコンカレント・ライセンス・サーバのエラー・メッセージに関する情報を提供します。

本章 では、次の項目について説明します。

- ▶ 「エラー 5 : ライセンス・マネージャと通信できません。「LocalHost」サーバが起動していません」(43 ページ)
- ▶ 「エラー 19 : ライセンス・コードをインストールできません。」(44 ページ)

エラー 5 : ライセンス・マネージャと通信できません。「LocalHost」サーバが起動していません

コンカレント・ライセンス・サーバが停止しています。

[スタート] > [プログラム] > [管理ツール] > [サービス] を選択してください。
Sentinel RMS License Manager サービスを見つけて [開始] をクリックします。

ライセンス・サーバが起動しなければ、HP ソフトウェア・サポートにお問い合わせください。

エラー 19 : ライセンス・コードをインストールできません。

エラー 19 は次の状況で発生します。

- ▶ 「NO-NET」上のライセンス・サーバにライセンス文字列「Unknown」を追加できなかった。

シート・ライセンスを指定されたコンピュータで実行中のコンカレント・ライセンス・サーバにインストールすることはできません。

- ▶ 「Local-host」上のライセンス・サーバにライセンス文字列「UNKNOWN」を追加できなかった。

コンカレント・ライセンスを指定されたコンピュータで実行中のコンカレント・ライセンス・サーバにインストールすることはできません。

エラー 19 が起こる原因

次に、エラー 19 が起こる原因についての一般的な情報を示します。

考えられる原因	考えられる解決策
ライセンス・キーがノードロックされており、ライセンス・サーバをインストールしようとしているコンピュータのロッキング・コードと一致していない。	HP ソフトウェア・サポートに問い合わせて正しいライセンス・キーを再発行してもらいます。
シート・ライセンスをインストールしようとしているけれども、ライセンス・キーがコンカレント・ライセンス用である。	QuickTest Professional または Service Test インストール DVD の LicenseServer\utils フォルダから Program Files\Common Files\HP\License Manager へ Isdecode.exe をコピーし、この Isdecode.exe ファイルを実行します。ライセンス・キー情報が表示され、正しいライセンスの種類をインストールしようとしているかどうかを確認できます。

考えられる原因	考えられる解決策
ライセンス・キーの入力に誤りがあった。	QuickTest Professional または Service Test インストール DVD の LicenseServer\utils フォルダから Program Files\Common Files\HP\License Manager へ Isdecode.exe をコピーし、この Isdecode.exe ファイルを実行します。ライセンス・キー情報が表示され、正しいライセンス・キーをインストールしようとしているかどうかを確認できます。
ライセンス・キーがすでにインストールされている。	<p>Iservrc ファイルが存在するかどうか確認します。ファイルの場所は、製品が現在インストールされているかどうかに応じて異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 製品がインストールされている場合、ファイルの場所は Iservrc 環境変数によって指定されます。 ヒント : Iservrc 環境変数のパスを確認するには、[マイコンピュータ] を右クリックして [プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。[環境変数] ウィンドウの [ユーザー] の ユーザー環境変数 ボックスにパスが表示されます (例: C:\Program Files\Common Files\HP\License Manager\Iservrc)。 ▶ 製品がインストールされていない場合、このファイルは Iservnt.exe と同じフォルダに存在します。標準設定では、C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\RMS License Manager Server\WinNT\ です。 ヒント : Iservnt.exe のパスを確認するには、[スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスで [Sentinel RMS License Manager] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。[実行ファイルのパス] ボックスに Iservnt.exe のパスが表示されます。 <p>Iservrc ファイルがある場合は、ライセンス・キーはすでにインストールされています。ライセンス・サーバを使用することができます。</p>

第 5 章

コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ

本章では、HP Functional Testing Concurrent License Server の付属ユーティリティについて概説します。これらのユーティリティは、QuickTest Professional および Service Test のコンカレント・ライセンスの管理を支援します。これらのユーティリティは、HP Functional Testing Concurrent License Server とともに提供される Sentinel License Manager の一部です。

本章で取り上げるユーティリティの詳細については、QuickTest Professional インストール DVD の **LicenseServer¥server¥SysAdminHelp** フォルダにある『Sentinel RMS License Manager System Administrator's Help』を参照してください（ヘルプにアクセスするには、**index.html** ファイルを開きます）。

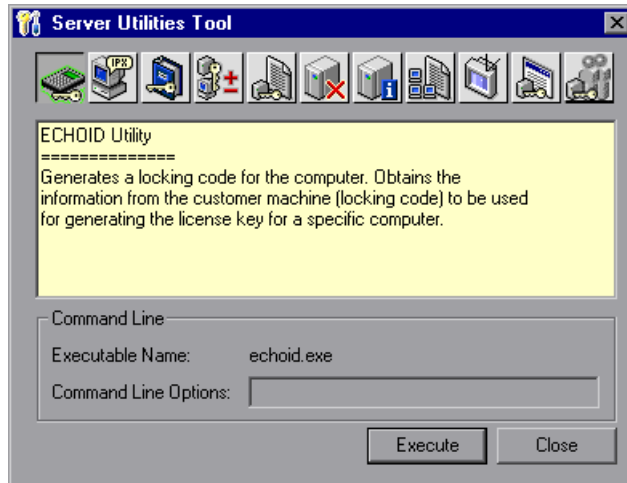
本章では、次の項目について説明します。

- ▶ 「概要」（48 ページ）
- ▶ 「現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示（QuickTest のみ）」（53 ページ）
- ▶ 「ライセンス・サーバの表示」（53 ページ）
- ▶ 「ライセンス・サーバの監視」（54 ページ）
- ▶ 「LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」（57 ページ）

概要

WLMADMIN ユーティリティを使って、コンカレント・ライセンス・サーバを監視できます。また、その他の HP Functional Testing サーバ管理ユーティリティを使えば、お使いのコンカレント・ライセンス・サーバの特定要素の確認と管理ができます。

HP Functional Testing サーバ管理ユーティリティは、QuickTest Professional または Service Test インストール DVD の **LicenseServer\utils** フォルダにある **SrvUtils.exe** を実行することによって表示される Windows ユーザ・インタフェースから起動します。



ユーティリティを実行するには、次の手順で行います。

[Server Utilities Tool] で実行するユーティリティを選択し、[Execute] をクリックします。

次の表に、HP Functional Testing ライセンス管理ユーティリティの簡単な説明と、使いやすくするために簡単な使用例を示します。

ユーティリティ	説明/使用例
ECHOID ユーティリティ echoid.exe	コンピュータのロッキング・コードを生成します。お使いのマシンから、特定のコンピュータのライセンス・キー生成に使う情報（ロッキング・コード）を取得します。
IPXECHO ユーティリティ ipxecho.exe	コンピュータが動作しているネットワークの IPX アドレスを表示します。ライセンス・サーバの IPX アドレスを調べるのに使用します。

ユーティリティ	説明/使用例
LSDECODE ユーティリティ lsdecode.exe	<p>ライセンス・キー情報が表示され、正しいライセンスの種類をインストールしようとしているかどうかを確認できます。</p> <p>HP Functional Testing のコンカレント・ライセンス・キー (lservrc) をデコードし、ライセンスの種類やコンカレント・ユーザ数の上限などのライセンス情報を取得します。</p> <p>サーバ・ユーティリティのアプリケーション (SrvUtils.exe) と LSDECODE ユーティリティ (lsdecode.exe) が lservrc ファイルと同じディレクトリにあることを確認します。</p>
LSLIC ユーティリティ lslic.exe	<p>ライセンス・キーを追加または削除します。次のコマンド・ライン・オプションを使うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ -a (追加) -f (ファイル名) : ライセンス・ファイルからライセンス・キーを追加 ▶ -removeall : HP Functional Testing Concurrent License Server からすべてのライセンスを削除 <p>LSHOST 環境変数を使ってライセンス・サーバを指定するか、サーバ・ユーティリティのアプリケーション (SrvUtils.exe) と LSLIC ユーティリティ (lslic.exe) が lservrc ファイルと同じディレクトリにあることを確認します。</p>
LSMON ユーティリティ lsmon.exe	<p>HP Functional Testing Concurrent License Server コンピュータを監視します。</p> <p>LSMON ユーティリティは、(QuickTest または Service Test を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (ライセンス・サーバ) で実行できます。</p> <p>リモートの HP Functional Testing Concurrent License Server を監視するには、<ホスト名>または<IP アドレス>を指定します。たとえば、c:\lsmon.exe saturn と指定すると、ホスト saturn が監視されます。詳細については、「現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示 (QuickTest のみ)」(53 ページ) を参照してください。</p>

ユーティリティ	説明/使用例
LSRVDOWN ユーティリティ lsrsvdown.exe	ライセンス・サーバをシャットダウンします。 このユーティリティのコマンド・ライン・オプションとして、ライセンス・サーバのホスト名を指定します。 また、サービスを停止することでライセンス・サーバをシャットダウンすることもできます。詳細については、「コンカレント・ライセンス・サーバの停止および再起動」(39 ページ)を参照してください。
LSUSAGE ユーティリティ lsusage.exe	ライセンス・サーバが生成する、使用情報が表示されます。ライセンス・サーバは発行されたものも拒否されたものも、すべてのライセンス・キーのログを記録しますが、ライセンス・キーの更新は記録しません。 例 : <code>lsusage.exe -l Usage-log-file</code> ▶ <code>[-c CSV-Format-New-log-file]</code> ▶ <code>[-f Feature-Name1,Version:Feature-Name2,Version ...]</code> ▶ <code>[-y Start-Year(YYYY) [-m Start-Month(MM) [-a Start-Day(DD)]]]</code> ▶ <code>[-Y End-Year(YYYY) [-M End-Month(MM)] [-A End-Day(DD)]]]</code>
LSWHERE ユーティリティ lswhere.exe	ネットワーク上で HP Functional Testing Concurrent License Servers を探し、ライセンス・サーバを実行しているすべてのコンピュータの名前を表示します。このユーティリティは、(QuickTest または Service Test を実行し、コンカレント・ライセンス・サーバに接続されている) クライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (ライセンス・サーバ) で実行できます。-<IP アドレス>パラメータは特定のネットワーク・ホストを探します。 詳細については、「ライセンス・サーバの表示」(53 ページ)を参照してください。
SLMDEMO ユーティリティ slmdemo.exe	ライセンスを使用するシミュレーションを実行します。このユーティリティは、ライセンスを特定のサーバに「追加」、または特定のサーバから「削除」でき、ログ・ファイルを作ることができます。このユーティリティを使って、ライセンス・キーがライセンス・サーバ・ホストに正しくインストールされ、コンカレント・ライセンスの数が正しいかどうかを確認できます。

ユーティリティ	説明/使用例
<p>WLMADMIN ユーティリティ WLMAdmin.exe</p>	<p>HP Functional Testing Concurrent License Server のトランザクションを監視し、ライセンス・サーバ、ユーザの情報のほか、コンカレント・ライセンス・サーバを使って QuickTest または Service Test を実行しているコンピュータに関する情報を提供します。このユーティリティを使って、HP Functional Testing Concurrent License Server が動作していることを確認し、その使用状況を監視することができます。</p> <p>詳細については、「ライセンス・サーバの監視」(54 ページ)を参照してください。</p>
<p>WLMADMIN ユーティリティ Wlsgrmgr.exe</p>	<p>特定のネットワーク・ユーザまたはコンピュータのライセンス・トークンを保持する予約ファイルの簡単な作成方法を提供したり、特定のユーザまたはコンピュータによるライセンス・トークンの使用を排除したりします。</p>
<p>WCommute.exe</p>	<p>コンカレント・ライセンス・ユーザが、ローカル・コンピュータまたはリモート・コンピュータで QuickTest または Service Test のコミュニータ・ライセンスをチェック・アウトおよびチェック・インできるようにします。コミュニータ・ライセンスを使用すれば、ネットワークから一時的に切断されているコンピュータでコンカレント・ライセンス・ユーザが QuickTest または Service Test を一時的に使用できるようになります。</p> <p>詳細については、『HP QuickTest Professional インストール・ガイド』または『HP Service Test インストール・ガイド』を参照してください。</p> <p>このユーティリティはコマンド・ラインでのみ有効化できます。[Server Utilities Tool] ウィンドウでは有効化できません。</p>
<p>WRCommute.exe</p>	<p>QuickTest または Service Test のコミュニータ・ライセンスを取得およびインストールするのに使用できる、リモート・コンピュータのロッキング・コードをコンカレント・ライセンス・ユーザが生成できるようにします。</p> <p>詳細については、『HP QuickTest Professional インストール・ガイド』または『HP Service Test インストール・ガイド』を参照してください。</p> <p>このユーティリティはコマンド・ラインでのみ有効化できます。[Server Utilities Tool] ウィンドウでは有効化できません。</p>

第 5 章・コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ

次の表では、使用できるコンカレント・ライセンス・サーバを指定または制御するために QuickTest または Service Test クライアント・コンピュータで使用されている変数について説明します。

ユーティリティ	説明/使用例
LSFORCEHOST 変数	QuickTest または Service Test クライアントを特定のコンカレント・ライセンス・サーバに限定します（ライセンス・サーバの指定にはホスト名または IP アドレスを使用できます）。この変数の設定の詳細については、「LHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」（57 ページ）を参照してください。
LHOST 変数	QuickTest または Service Test クライアントにおいて優先するコンカレント・ライセンス・サーバを指定します。指定したコンカレント・ライセンス・サーバが見つからない場合は、ネットワーク全体が検索されます。リモート・サブネットにあるサーバに接続するには、この変数を使います。この変数の設定の詳細については、「LHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定」（57 ページ）を参照してください。

現在のコンカレント・ライセンス・サーバのユーザの表示 (QuickTest のみ)

LSMON ユーティリティは、(QuickTest を実行し) コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているクライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。

LSMON ユーティリティは DOS ベースのプログラムで、次のものを表示します。

- ▶ QuickTest または Service Test のコンカレント・ユーザの上限
- ▶ 現在コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているコンピュータの数
- ▶ 現在コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているコンピュータの ID
- ▶ 現在使用されていないライセンスの数

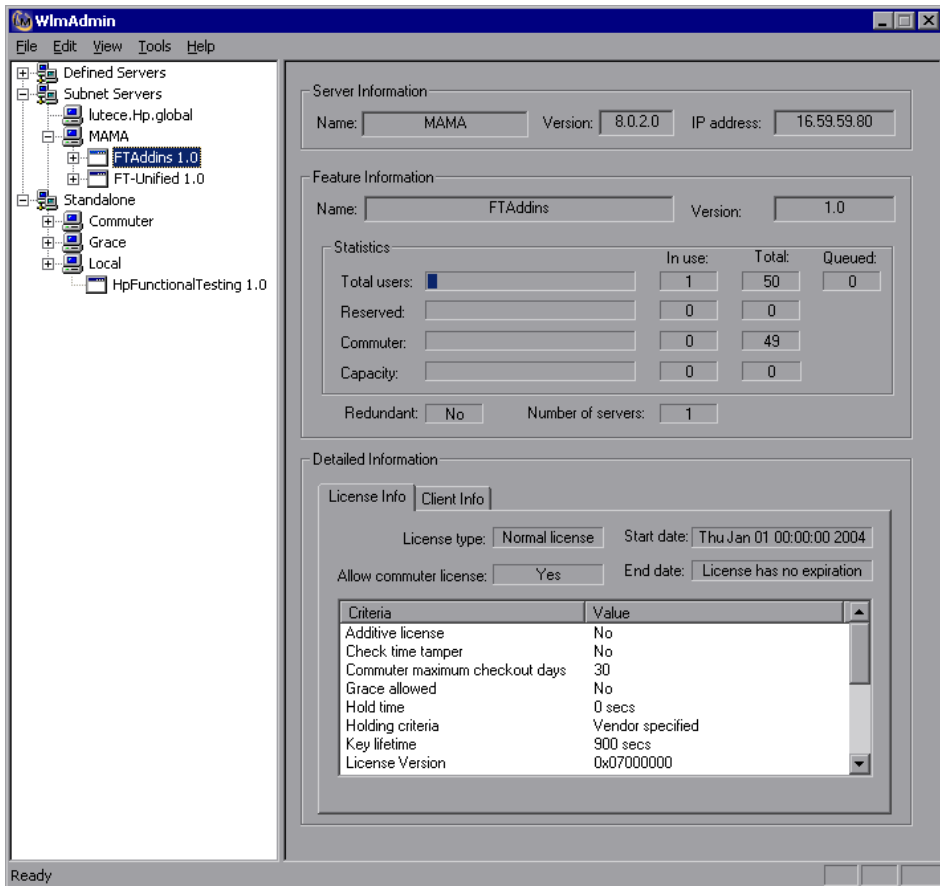
注: クライアント・コンピュータから LSMON ユーティリティを実行してネットワーク上のすべてのコンピュータの情報を表示するには、LSMON <ライセンス・サーバのホスト名>を入力します。

ライセンス・サーバの表示

LSWHERE ユーティリティは、(QuickTest を実行し) コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているクライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。このユーティリティは Windows ベースのプログラムで、HP Functional Testing Concurrent License Server を実行しているすべてのコンピュータのネットワーク名を表示します。

ライセンス・サーバの監視

WLMADMIN ユーティリティは、(QuickTest または Service Test を実行し) コンカレント・ライセンス・サーバに接続されているクライアント・コンピュータまたはホスト・コンピュータ (コンカレント・ライセンス・サーバ) で実行できます。このユーティリティは、サーバに接続している各 HP 製品によるライセンス・サーバ・トランザクションの監視を可能にし、ライセンス・サーバ、ユーザの情報のほか、コンカレント・ライセンスを使って HP 製品を実行しているコンピュータに関する情報を提供します。このユーティリティを使って、ライセンス・サーバの動作を監視できます。



注：

- ▶ QuickTest と Service Test は同じコンカレント・ライセンス・サーバを共有できます。
 - ▶ [Feature name] (ライセンス) は、サポートの対象となる最も古いバージョンを示します。たとえば、**QuickTestPro 6.0** は QuickTest Professional のバージョン 6.0 以降をサポートしています。
-

ライセンス・サーバによって発行されるライセンスの種類の決定方法について (QuickTestのみ)

ユーザがコンカレント・ライセンスで動作するように設定されている QuickTest クライアントを開くと、クライアントはコンカレント・ライセンス・サーバにライセンス要求を送信します。たとえば、**QuickTestPro 6.0**、**FT-Unified 1.0**、**HpFunctionalTesting 1.0**、**UnifiedFunctionalTesting 1.0** のように、コンカレント・ライセンス・サーバで使用可能なライセンスの種類が複数ある場合は、QuickTest がプログラム・ロジックを適用し、このセッションに必要なライセンスの種類を決定します。ライセンスの種類には、**QuickTestPro 6.0** のように製品固有のもの、**FT-Unified 1.0** のように QuickTest と Service Test の両方にグローバルに適用できるもの、**UnifiedFunctionalTesting 1.0** のように QuickTest と Service Test の両方およびすべてのアドインにグローバルに適用できるものがあります。

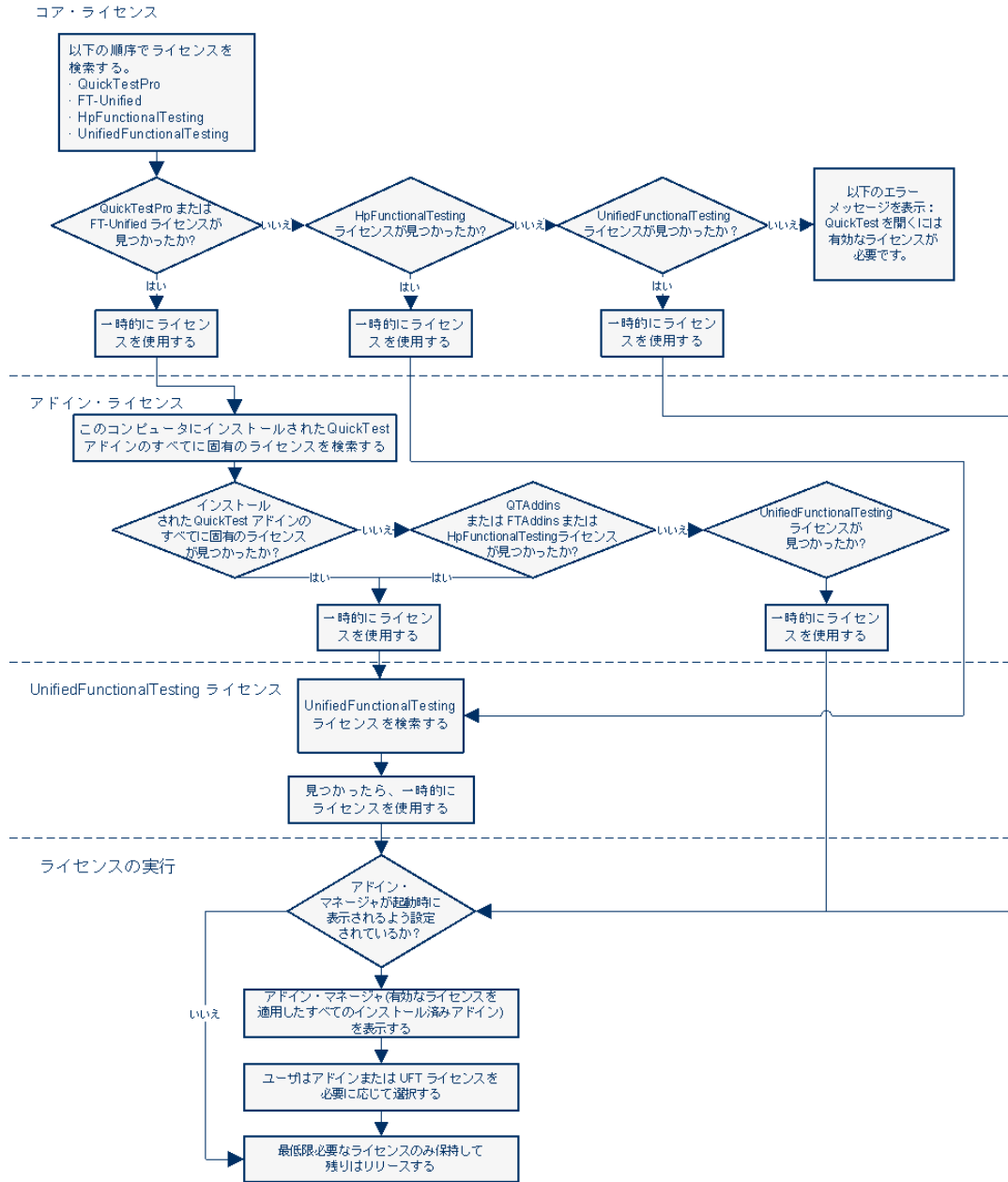
QuickTest クライアントは、コンカレント・ライセンス・サーバに初めて要求を送信するときに、製品固有のライセンスを要求します。製品固有のライセンスが使用可能な場合は、コンカレント・ライセンス・サーバがライセンスを発行します。製品固有のライセンスが使用不可能な場合は、機能テスト・ツールがグローバル・ライセンスを要求します。使用可能なライセンスが無い場合は、機能テスト・ツールによってすべてのライセンスが使用中であるというメッセージを表示されます。

以降のセッションでは、機能テスト・ツールは、常に前回のセッションで発行されたのと同じライセンスの種類を要求します。要求されたライセンスの種類が使用不可能な場合は、機能テスト・ツールは代替りのライセンスの種類を要求します。

たとえば、QuickTest クライアントが最後に接続されたのが **QuickTestPro 6.0** ライセンスを発行したライセンス・サーバであった場合、QuickTest クライアントは同じライセンスの種類を再び要求します。使用可能な **QuickTestPro 6.0** ライセンスがない場合は、**FT-Unified 1.0** ライセンスを要求します。

第5章・コンカレント・ライセンス・サーバ・ユーティリティ

次のフローチャートに、このプロセスを示します。



LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数の設定

ライセンス・ウィザードを使用して QuickTest や Service Test の接続先となるコンカレント・ライセンス・サーバを指定する以外に、Windows の環境変数を使用してコンカレント・ライセンス・サーバを指定することもできます。

たとえば、LSHOST 変数を使用して、QuickTest または Service Test クライアントの接続先にするコンカレント・ライセンス・サーバを設定できます。指定したコンカレント・サーバがローカル・サブネットに見つからない場合は、ネットワーク全体が検索されます。

あるいは、LSFORCEHOST 変数を使用して、QuickTest または Service Test を特定のコンカレント・ライセンス・サーバに制限することもできます。LSHOST 変数および LSFORCEHOST 変数については、52 ページで説明しています。

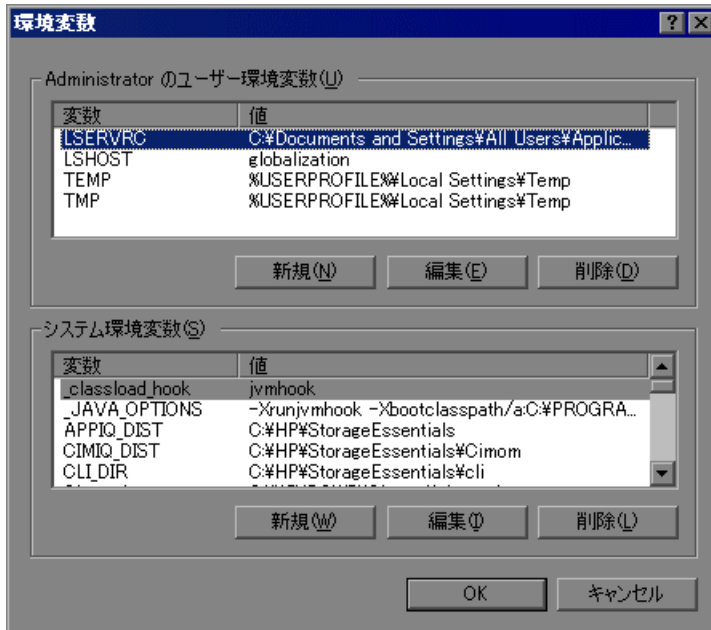
HP Functional Testing Concurrent License Server が QuickTest または Service Test のクライアントとは異なるドメインあるいはサブネットにインストールされている場合は、「既知の問題とその解決法」(41 ページ) の説明に従って、LSHOST 変数または LSFORCEHOST 変数を設定する必要が生じることがあります。

注：

- ▶ ライセンス・ウィザードを使用してコンカレント・ライセンスを有効化し、サーバ名を 1 つ指定すると、LSFORCEHOST ユーザ変数が指定したコンカレント・ライセンス・サーバにすでに定義されています。
 - ▶ LSFORCEHOST 変数は、指定したサーバ名でのみ使用可能なライセンスを検査するように指示します。複数のサーバで使用可能なライセンスを検査するには、LSHOST 変数を設定する必要があります。
-

LSHOST または LSFORCEHOST 変数を設定するには、次の手順で行います。

- 1 [環境変数] ダイアログ・ボックスを開きます ([スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [システム] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブをクリックします。続いて [環境変数] ボタンをクリックします。[環境変数] ダイアログ・ボックスが開きます)。



注：すでに LSHOST システム変数または LSFORCEHOST システム変数を使用してコンカレント・ライセンス・サーバが定義されている場合は、ユーザ変数を使用して定義する必要はありません。

- 2 [<ユーザー名>のユーザー環境変数] リストの下にある [新規] をクリックします。[新しいユーザー変数] ダイアログ・ボックスが開きます。

- 3 **[変数名]** ボックスに、「LSHOST」または「LSFORCEHOST」と入力します。
- 4 **[変数値]** ボックスに、コンカレント・ライセンス・サーバの正式名称を入力します。または、ホスト・コンピュータの IP アドレスを入力しても構いません。

注：

- ▶ LSHOST および LSHOSTFORCE 環境変数は 64 文字に制限されています。
- ▶ ホスト名が複数ある（たとえば 1 つのネットワーク上で複数の HP Functional Testing Concurrent License Servers を運用している）場合には、セミコロン (;) を使って **[変数値]** ボックスの中のホスト名または IP アドレスを区切ります。

-
- 5 **[OK]** をクリックして、**[新しいユーザー変数]** ダイアログ・ボックスを閉じます。
 - 6 **[OK]** をクリックして **[環境変数]** ダイアログ・ボックスを閉じます。
 - 7 **[OK]** をクリックして **[システムのプロパティ]** ダイアログ・ボックスを閉じます。

第 6 章

コンカレント・ライセンス・サーバの アンインストール

コンカレント・ライセンス・サーバは、必要に応じてアンインストールできます。

コンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールすると、このサーバのコンカレント・ライセンスを使用しているコンピュータは、QuickTest と Service Test クライアントを実行できなくなります。QuickTest または Service Test クライアントを実行するには、コンピュータにそれぞれシート・ライセンスをインストールするか、別のコンカレント・ライセンス・サーバにアクセスするようにコンピュータを設定する必要があります。シート・ライセンスへのコンカレント・ライセンスの変更に関する詳細については、関連するインストール・ガイドを参照してください。

ライセンス・サーバをアンインストールし、別のコンピュータに再インストールする場合は、HP ソフトウェア・サポートに連絡して、サーバの新しいインストール先となるコンピュータのロッキング・コードに対応する新しいライセンス・キーを取得します。コンカレント・ライセンス・キーの申請の詳細については、「コンカレント・ライセンス・キーの申請」(27 ページ) を参照してください。

コンカレント・ライセンス・サーバをアンインストールするには、次の手順で行います。

1 lservrc ファイルのバックアップを保存します。**lservrc** ファイルの場所は、製品が現在インストールされているかどうかに応じて異なります。

- ▶ 製品がインストールされている場合、ファイルの場所は **lservrc** 環境変数によって指定されます。

ヒント: **lservrc** 環境変数のパスを確認するには、[マイ コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] を選択します。[システムのプロパティ] ダイアログ・ボックスで [詳細設定] タブを選択して、[環境変数] をクリックします。LSERVRC 変数の [環境変数] ウィンドウの [ユーザー] のユーザー環境変数 ボックスにパスが表示されます (例: C:\Program Files\Common Files\HP\License Manager\lservrc)。

- ▶ 製品がインストールされていない場合、このファイルは **Iservnt.exe** と同じフォルダに存在します。標準設定では、C:¥Program Files¥Common Files¥SafeNet Sentinel ¥Sentinel RMS License Manager Server¥WinNT¥ です。

ヒント : **Iservnt.exe** の場所を確認するには、[スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択します。[サービス] ダイアログ・ボックスの [Sentinel RMS License Manager] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。[実行ファイルのパス] ボックスに **Iservnt.exe** のパスが表示されます。

- 2 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] > [プログラムの追加と削除] をクリックします。

[プログラムの追加と削除] ダイアログ・ボックスが開きます。

- 3 [Sentinel RMS License Manager 8.x.x] または [Sentinel LM Server 8.x.x] を選択し、[削除] をクリックします。

- 4 画面に表示される手順に従います。

注 : コンカレント・ライセンス・サーバのアンインストールは、QuickTest Professional または Service Test インストール DVD の **LicenseServer** フォルダにある **autorun.exe** ファイルを使用して行うこともできます。DVD は、ほかのバージョンのライセンス・サーバのアンインストールには使用しないでください。予想外の動作を引き起こす可能性があります。
